

長野県小谷村 ペンション バク



1. 火災の特色

この火災は、スキー場に隣接した木造3階建のペンションの1階の談話室から出火し、1棟全焼したものである。この火災でペンションにスキー合宿に来ていた少年野球チームのメンバーのうち、205号、303号室に宿泊していた2人が逃げ遅れ焼死した。このペンションは当初2階部分のみを客室として使用していたが、2階の屋根裏を改造して客室を造り、宿泊させていた。

2. 出火日時等

(1) 出火日時

昭和60年4月1日(月)4時50分頃

(2) 覚知時間(覚知方法)

昭和60年4月1日(月)5時08分(119番通報)

(3) 鎮火時間

昭和60年4月1日(月)6時15分

3. 火元の概要

(1) 所在地

長野県北安曇郡小谷村大字千国乙12856-イ-1

(2) 火元建物等の名称

ペンション バク

(3) 火元建物の構造等

- ① 建築年月日
昭和50年9月に完成し、その後3階の屋根裏を改造して客室として使用していた。
- ② 増改築の状況
昭和57年8月に住宅棟を接続した。
- ③ 建物用途
ペンション（5項イ）
- ④ 構造
木造地下1階地上3階建（違反建築）
- ⑤ 面積
建築面積：266.06㎡
延べ面積：635.80㎡
- ⑥ 出火時の在館者等
ア 宿泊客 40人
イ 従業員等 14人
- ⑦ 建築物階層別用途及び面積

階	面積	用途
3	152.13㎡	客室
2	185.53㎡	客室
1	266.42㎡	住宅、食堂
B1	31.72㎡	居室
合計	635.80㎡	

(4) 消防用設備等の設置状況

- ① 消火設備
消火器
- ② 警報設備
自動火災報知設備
- ③ 避難設備
誘導灯
- ④ 消火活動上必要な施設
なし

(5) 防火管理の状況

- ① 防火管理者
未選任
- ② 消防計画
未届出

③ 避難訓練の実施状況

実施されていない。

4. 気象状況

(1) 天候

快晴

(2) 風位、風速

風位：北、風速：2.0m/s

(3) 気温、湿度

気温：-4.0℃、湿度：74.0%

(4) 気象注意報等

なし

5. 出火原因

(1) 発火源

ライター

(2) 経過

放火による

(3) 着火物

楽譜

6. 損害状況

(1) 人的被害状況

① 死者

2名（両名とも男11歳）

② 負傷者

1名（軽傷）

(2) 物的損害状況

① 火元建物

ア 焼損程度 全焼

イ 焼損面積 635㎡

ウ 損害額 61,031千円

② 類焼建物

なし

7. 火災の経過（火災の様態）

(1) 出火場所の状況

1階談話室付近

(2) 出火に至るまでの状況

宿泊していた客が放火したものの。

(3) 火災発見の経緯

1階スタッフ談話室で話していた従業員A（男）とB（女）は、5時頃1階談話室の方向にオレンジ色の明かりに気付き、Aが部屋を出て見て、ホールと談話室の仕切りのカーテンとドライフラワーが燃えており、天井まで炎が達しているのを発見した。

(4) 消防機関への通報状況

火災の連絡を受けた所有者夫妻は、現場へ行き、消火器による初期消火を試みたが消火できなかった。隣家のペンションに119番通報を依頼し、このペンションの所有者の妻が119番通報したものである。

なお、スキー場のゲレンデに面してペンション等が林立するこの地区では、火災が発生した場合は近くの家に知らせ、そこから119番通報する旨の取り決めがされていた。

(5) 初期消火の状況

火災を発見したAは、ホールのカウンター奥のコンロの上にあったヤカンの水でカーテンを消火した後、さらに水入れで消火しようとしたが、火炎が拡大し、室内に入ることができず消火を断念した。

その後、現場に駆け付けた所有者夫妻及び他の従業員2名が、それぞれ備え付けの消火器で消火を試みたが、いずれも火の勢いが強く消火することができなかった。

(6) 避難誘導と避難の状況

Aは、2階に行き2つの部屋に入り、避難を指示した。所有者の妻も2階へ上がり大声で火災である旨を告げた。

Bは、ペンション棟に戻ると玄関ホールから上に向かい「火事です、避難してください」と叫んだ後屋外へ避難した。避難誘導の声と3階で就寝していた他の従業員（男5名、女3名）は煙の臭いで火災に気付き、廊下に出てきた子供達と一緒に屋外へ避難し、人数の確認等を行った。

屋外へ避難した従業員のうち2名は、2階の部屋の窓から子供が頭を出しているのを発見し、はしごを架け救出した。

(7) 死者の状況

鎮火後、行方不明の子供が2名いるとの関係者からの情報で、消防隊の捜索により、火災発生後、約6時間を経過した11時頃、1階の玄関及び乾燥室でそれぞれ1名を焼死体で発見した。

8. 消防機関の活動状況

(1) 出動隊等

① 出動車両

非常備 7台（ポンプ自動車 3台、小型動力ポンプ 4台）

② 出動人員

常備 4名、非常備 104名

(2) 消防機関の消火、救助活動の状況

火災発生当日は、常備消防の発足日であり、業務開始する矢先のことであった。以前は、1

町5村での協力体制が了解されており、今回も約100人の団員が消火に当たった。ポンプ自動車は、ペンションに至る急傾斜の街路沿いの防火水槽及び消火栓に部署し、ホースを延長、火元建物を包囲し消火活動に努めた。

5：08 小谷村役場が火災通報を受信

5：25 放水開始

6：00 火勢鎮圧

6：15 鎮火

9. 問題点・教訓

- (1) このペンションは、当初2階部分を客室として使用していたが、その後2階の屋根裏を改造し、9室を造り宿泊させている。たて穴区画のない木造3階の避難しにくい場所に宿泊していたため逃げ遅れたと考えられる。
- (2) 1階から改造した3階までの吹き抜けがあったため、1階で発生した煙は急速に3階まで充満した。

10. 資料



図-1：ペンション バク

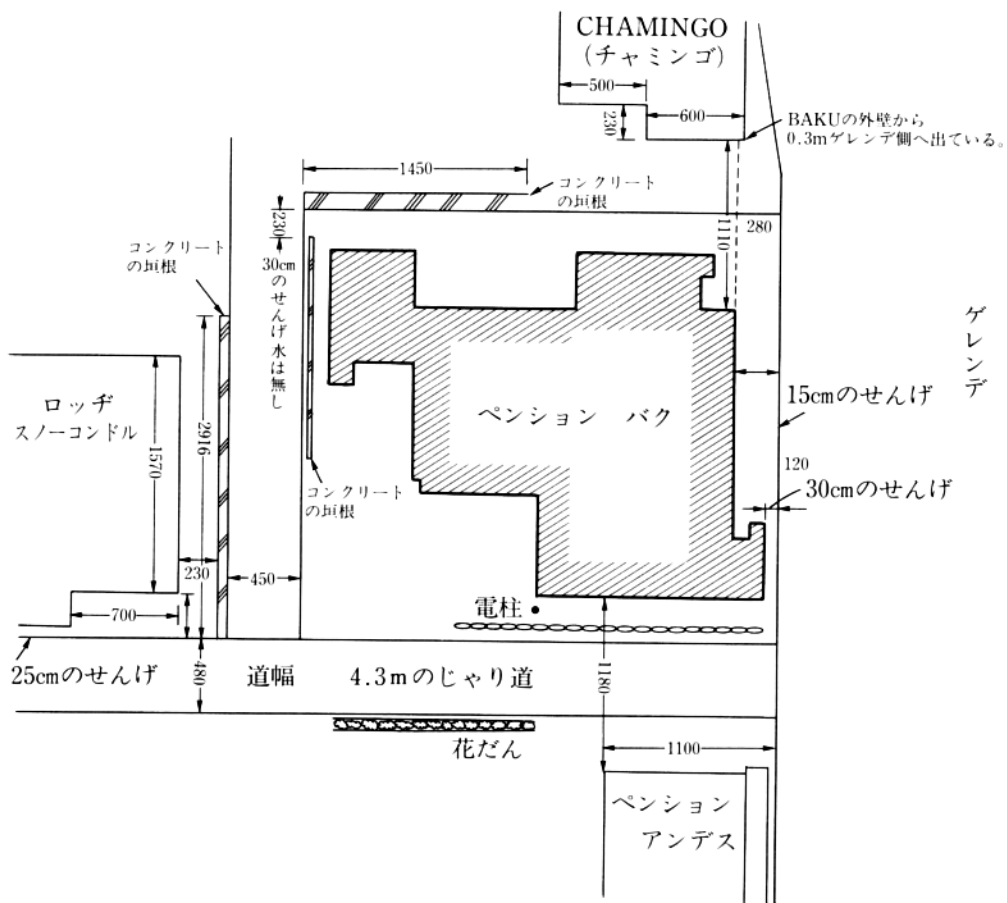


図2：ペンション『バク』平面図

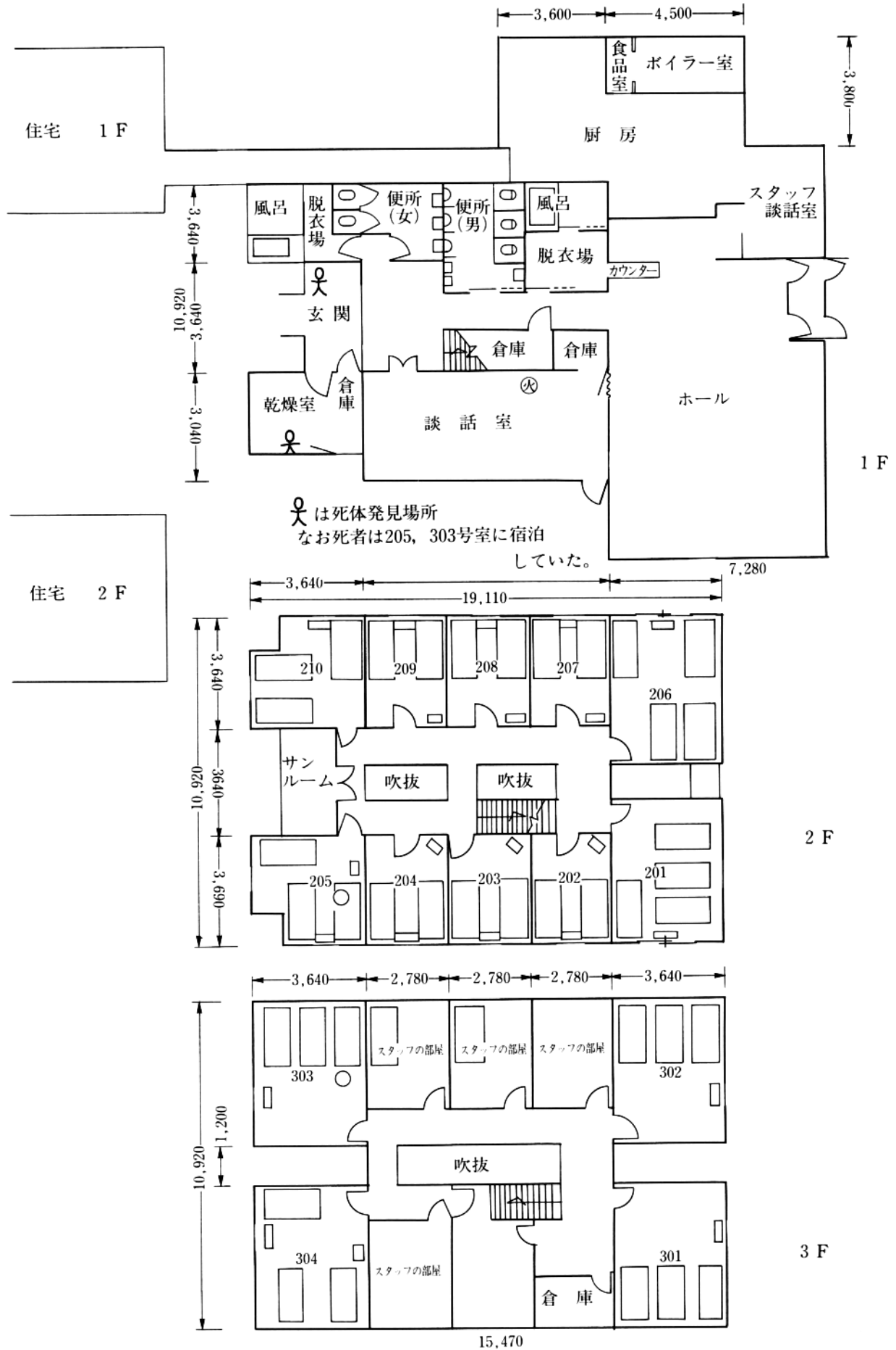


図-3：出火室

